

# 動的なサイトを作ろう

**ようこそ！**

メッセージが変更されました！

メッセージを変更

# この教材でできること

- HTMLとJSの連携について理解できる
- 動的なコンテンツ生成と操作について理解できる

## どんな教材？

より高度でインタラクティブなwebサイトの基礎がわかる  
教材

# 目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

# 目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

# ①HTMLで文字の出力をしよう

画面に出力される文字を書いたり、JSとの連携についてのHTMLのコードを書くよ

**ようこそ！**

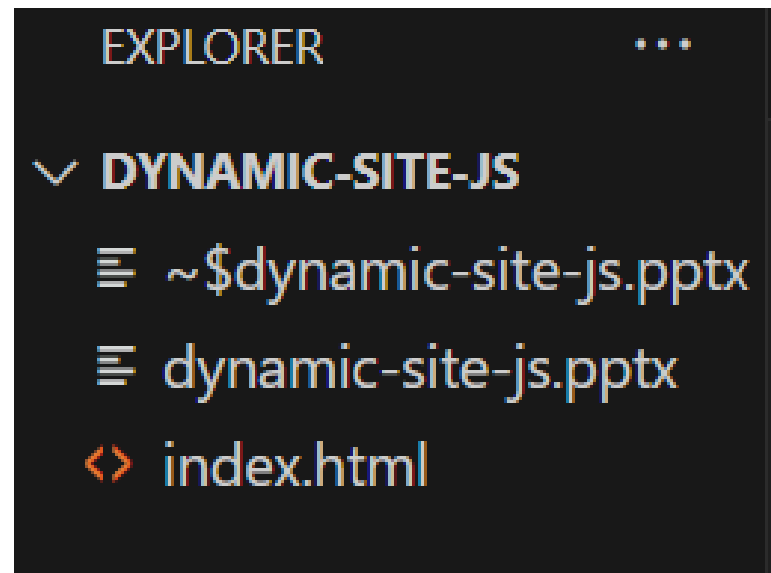
ボタンをクリックしてメッセージを変更してください。

メッセージを変更

# ①HTMLで文字の出力をしよう

早速VScodeを開いてフォルダー、ファイルを準備しよう

テキストでは「dynamic-site-js」というフォルダーの中に「index.html」のファイルを生成したよ



# ①HTMLで文字の出力をしよう

htmlに以下のコードを書こう！

```
<> index.html > html > body > script
1  <!DOCTYPE html>
2  <html lang="ja">
3  <head>
4  |   <meta charset="UTF-8">
5  |   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
6  |   <title>動的サイトのサンプル</title>
7  </head>
8  <body>
9  |   <h1 id="title">ようこそ！</h1>
10 |   <p id="message">ボタンをクリックしてメッセージを変更してください。</p>
11 |   <button id="changeButton">メッセージを変更</button>
12 |
13 |   <script src="dynamic.js"></script>
14 </body>
15 </html>
16
```

# ①HTMLで文字の出力をしよう

htmlが書けたらwebページを見てちゃんと出力されているか確認してみよう！

**ようこそ！**

ボタンをクリックしてメッセージを変更してください。

メッセージを変更



# 目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

このページではJSを使って、ボタンがクリックされたときにメッセージが変わるようなscriptを書くよ！

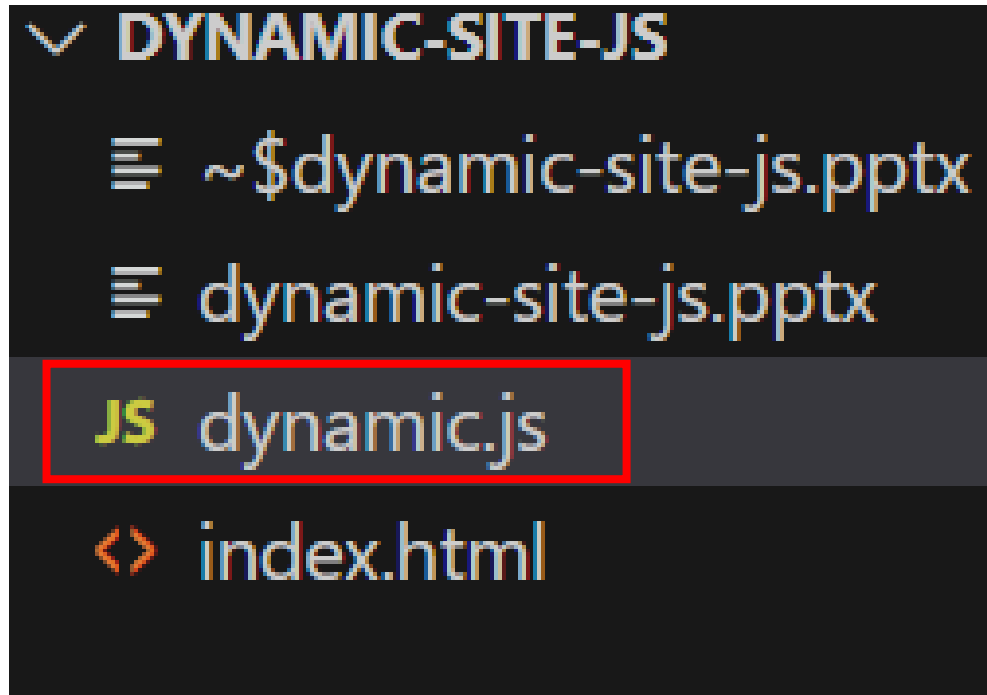
# ようこそ！

メッセージが変更されました！

メッセージを変更

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

JSのコードを作ろう！



```
▼ DYNAMIC-SITE-JS
  ≡ ~$dynamic-site-js.pptx
  ≡ dynamic-site-js.pptx
  JS dynamic.js
  <> index.html
```

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

以下のjsコードを書こう！

```
1 document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {  
2  
3 });  
4
```

# 説明

```
document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {  
});
```

ページが完全に読み込まれた後に、特定の処理を実行するよ  
特定の処理は{}の中の内容だよ

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

次に以下のコードを書こう！

```
1 document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {  
2     const button = document.getElementById("changeButton");  
3     const message = document.getElementById("message");  
4  
5  
6 });  
7
```

# 説明

・`const button = document.getElementById("changeButton");`

:HTMLの「id=changeButton」の内容を「button」というJSの変数に入れているよ

・`const message = document.getElementById("message");`

:HTMLの「id= message」の内容を「 message 」というJSの変数に入れているよ

# 説明

変数とは:数などがどんどん変わっていくときに使うものだよ!

例)ゲームの主人公の体力が最初100だった時に敵から攻撃を受けると体力が下がるね!そのような場面の時に使うよ!



## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

次に以下のコードを書こう！

クリックされたときの処理を書くよ！

```
1 document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {
2     const button = document.getElementById("changeButton");
3     const message = document.getElementById("message");
4
5     // ボタンがクリックされた時にメッセージを変更
6     button.addEventListener("click", function() {
7         message.textContent = "メッセージが変更されました！";
8     });
9 });
10
```

# 説明

```
button.addEventListener("click", function() {  
});
```

**button変数が何かアクションを起こった時に実行(今回はクリックされたら実行するようにしているよ)**

# 説明

```
message.textContent = "メッセージが変更されました！";
```

**message変数のテキストの中身を「メッセージが変更されました！」に変えるよ！**

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

ここまで出来たら保存して、webページを開いてみよう

**ようこそ！**

ボタンをクリックしてメッセージを変更してください。

メッセージを変更

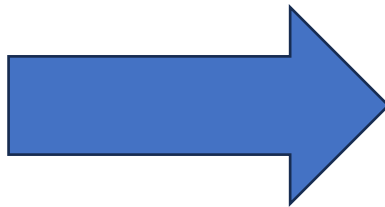
## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

ボタンをクリックしたらメッセージが変わったか確認してみよう！

ようこそ！

ボタンをクリックしてメッセージを変更してください。

メッセージを変更



ようこそ！

メッセージが変更されました！

メッセージを変更

## ②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

ここまで出来たら自分なりにアレンジをしてみたり、CSSでデザインを付け加えてみよう

# お疲れさまでした

テキストは終了です。  
あとは自分なりにアレンジを付け加えていこう！